



本町ほのぼのだより 第11号

発行：中野区立本町図書館 中野区本町2丁目13番2号 TEL 03-3373-1666

発行年月日：平成25年2月23日 第11号

第11回 本町図書館 個性づくりテーマ展示

ザ★歌謡曲 ～歌は世につれ～

本町図書館では、『文化・芸術・芸能』に関する資料を、絵画や音楽、工芸、伝統芸能など幅広い分野にわたって収集・展示をしております。

第11回目となる今回は、「ザ★歌謡曲～歌は世につれ～」と題して、「歌謡曲」をテーマにした展示をお届けします。「歌は世につれ世は歌につれ」とは良く言ったものです。歌の流行も世の中の在り様も、お互いに影響を受け合って時代は変化してゆきます。また歌は人々の心にも深く沁み込み、個人の思い出を蘇らせる力があるとも言われます。

1998年に流行った歌にこんな詞がありました。♪あの頃の未来に僕らは立っているのかな♪この年は長野で冬季五輪が行われ、サッカーはワールドカップ初出場、郵便番号は7桁に改められました。総理大臣は今亡き小淵恵三さんが務めていました。嗚呼、あの頃の未来も今は昔。現在はこの瞬間にも過去となり、私達が歩いた足跡には歴史が降り積もってゆきます。

懐かしい歌を聴きながら、過去と未来を眺めてみませんか。流行り歌の歌詞には人々の想いが、リズムには時代の足音が刻まれているような気さえしてきます。

展示場所：本町図書館 2階書架

展示期間：平成25年2月23日(土) ～ 4月25日(木)

※ 展示資料は貸出もできます。



歌は世につれ

時代とベストセラー 1968年～1995年 2001年・2011年

	主な出来事	第1位	第2位
1968年	三億円事件／全学連東大闘争	「星影のワルツ」千昌夫	「帰ってきたヨッパライ」 フォークルセイダース
1969年	アポロ11号、月面着陸	「夜明けのスカット」由紀さおり	「港町ブルース」森進一
1970年	万国博覧会／よど号乗とり事件	「黒ネコのタンゴ」皆川おさむ	「ドリフのズンドコ節」ザ・ドリフターズ
1971年	大久保清事件／ドル・ショック	「わたしの城下町」小柳ルミ子	「知床旅情」加藤登紀子
1972年	浅間山荘事件／札幌冬季五輪	「女のみち」宮史郎とびんからトリオ	「瀬戸の花嫁」小柳ルミ子
1973年	オイル・ショック／ハイセーコー	「女のみち」宮史郎とびんからトリオ	「女のねがい」宮史郎とびんからトリオ
1974年	長島茂雄引退／小野田さん帰国	「なみだの操」殿さまキングス	「あなた」小坂明子
1975年	新幹線「東京-博多間」開通	「昭和枯れすすき」さくらと一郎	「シクラメンのかほり」布施明
1976年	ロッキード事件／M・アリ対A・猪木	「およげ！たいやきくん」子門真人	「ビューティフル・サンデー」ダニエル・ブーン
1977年	王貞治756号本塁打／青酸コーラ事件	「渚のシンドバッド」ピンク・レディー	「青春時代」森田公一とトップギャラン
1978年	成田新国際空港開港	「UFO」ピンク・レディー	「サウスポー」ピンク・レディー
1979年	インベーダーゲーム流行／共通一次	「夢追い酒」渥美二郎	「魅せられて」ジュディ・オング
1980年	モスクワ五輪不参加／ジョン・レノン射殺	「ダンシング・オールナイト」もんた&ブラザーズ	「異邦人」久保田早紀
1981年	ルービックキューブ流行	「ルビーの指環」寺尾聡	「奥飛騨慕情」竜鉄也
1982年	H・ニュージャパン火災／500円硬貨	「待つわ」あみん	「セーラー服と機関銃」業師丸ひろ子
1983年	おしんブーム／東京ディズニーランド	「さざんかの宿」大川栄策	「矢切りの渡し」細川たかし
1984年	ロス五輪開催／グリコ・森永事件	「もしも明日が・・・」わらべ	「ワインレッドの心」安全地帯
1985年	日航機、墜落／NTT・JT発足	「ジュリアに傷心」チェッカーズ	「ミ・アモーレ」中森明菜
1986年	チェルノブイリ原発事故／伊豆大島噴火	「CHE-CHA-CHA」石井明美	「DESIRE」中森明菜
1987年	国鉄からJR／江川卓引退	「命くれぬい」瀬川瑛子	「TANGO NOIR」中森明菜
1988年	青函トンネル開通／瀬戸大橋開通	「パラダイス銀河」光 GENJI	「ガラスの十代」光 GENJI
1989年	「平成」／消費税導入／天安門事件	「Diamonds」プリンセス・プリンセス	「世界でいちばん熱い夏」プリンセス・プリンセス
1990年	イラク、クウェート侵攻／R ストーンズ来日 東西ドイツ統一	「おどるポンポコリン」B.B.クィーンズ	「浪漫飛行」米米クラブ
1991年	雲仙普賢岳噴火／東京都新都庁 千代の富士・オグリキャップ引退／湾岸戦争	「ラブ・ストーリーは突然に」小田和正	「SAY YES」CHAGE&ASKA
1992年	バルセロナ五輪／新幹線「のぞみ」運行 毛利衛、日本人初宇宙飛行	「君がいるだけで」米米 CLUB	「悲しみは雪のように」浜田省吾
1993年	Jリーグ開幕／北海道南西沖地震 皇太子さま雅子さま、結婚	「YAH YAH YAH」CHAGE&ASKA	「愛のままわがままに 僕は君だけを傷つけない」B'z
1994年	松本サリン事件／関西国際空港開港 ロス大地震／大江健三郎ノーベル文学賞	「innocent world」Mr.Children	「ロマンスの神様」広瀬香美
1995年	阪神淡路大震災／地下鉄サリン事件	「LOVE LOVE LOVE」ドリームズ・カム・トゥルー	「WOW WAR TONIGHT」H Jungle With t
2001年	同時多発テロ／イチロー大リーグ首位打者	「Can You Keep A Secret？」宇多田ヒカル	「M」浜崎あゆみ
2011年	東日本大震災／福島原発事故	「フライングゲット」AKB48	「Everyday、カチューシャ」AKB48

※1990年～1992年のみ日本レコード大賞は歌謡曲・演歌部門(上段)とポップス・ロック部門(下段)があります。

	第3位	第4位	第5位	日本レコード大賞
1968年	「恋の季節」ピンキーとキラーズ	「小樽のひとよ」 鶴岡雅義と東京ロマンチカ	「恋のしずく」伊東ゆかり	「天使の誘惑」黛ジュン
1969年	「ブルーライト・ヨコハマ」いしだあゆみ	「恋の季節」ピンキーとキラーズ	「黒ネコのタンゴ」皆川おさむ	「いいじゃないの幸せならば」佐良直美
1970年	「圭子の夢は夜ひらく」藤圭子	「女のブルース」藤圭子	「逢わずに愛して」内山田洋とクールファイブ	「今日でお別れ」菅原洋一
1971年	「また逢う日まで」尾崎紀世彦	「傷だらけの人生」鶴田浩二	「ナオミの夢」ヘドバとダビデ	「また逢う日まで」尾崎紀世彦
1972年	「さよならをするために」ピリー・ハンバン	「旅の宿」よしだたくろう	「悪魔がにくい」平田隆夫とセルスターズ	「喝采」ちあきなおみ
1973年	「学生街の喫茶店」ガロ	「喝采」ちあきなおみ	「危険なふたり」沢田研二	「夜空」五木ひろし
1974年	「うそ」中条きよし	「ふれあい」中村雅俊	「恋のダイヤル 6700」フィンガー5	「襟裳岬」森進一
1975年	「想い出まくら」小坂恭子	「時の過ぎゆくままに」沢田研二	「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」 ダウン・タウン・ブギウギ・バンド	「シクラメンのかほり」布施明
1976年	「北の宿から」都はるみ	「木綿のハンカチーフ」太田裕美	「岸壁の母」二葉百合子	「北の宿から」都はるみ
1977年	「ウォンテッド」ピンク・レディー	「勝手にしやがれ」沢田研二	「昔の名前ででています」小林旭	「勝手にしやがれ」沢田研二
1978年	「モンスター」ピンク・レディー	「君の瞳は 10000 ホル」堀内孝雄	「微笑がえし」キャンディーズ	「UFO」ピンク・レディー
1979年	「おもいで酒」小林幸子	「関白宣言」さだまさし	「北国の春」千昌夫	「魅せられて」ジュディ・オング
1980年	「大都会」クリスタルキング	「ランナウェイ」シャネルズ	「順子」長渕剛	「雨の慕情」八代亜紀
1981年	「スニーカーぶる～す」近藤真彦	「ハイスクールララバイ」イモ欽トリオ	「長い夜」松山千春	「ルビーの指環」寺尾聰
1982年	「聖母たちのララバイ」岩崎宏美	「心の色」中村雅俊	「北酒場」細川たかし	「北酒場」細川たかし
1983年	「めだかの兄弟」わらべ	「探偵物語」業師丸ひろ子	「氷雨」佳山明生	「矢切りの渡し」細川たかし
1984年	「Rock'n Rouge」松田聖子	「涙のリクエスト」チェッカーズ	「哀しくてジェラシー」チェッカーズ	「長良川艶歌」五木ひろし
1985年	「恋におちて」小林明子	「Romantic が止まらない」C-C-B	「あの娘とスキヤル」チェッカーズ	「ミ・アモーレ」中森明菜
1986年	「仮面舞踏会」少年隊	「ban Ban ban」Kuwata Band	「My Revolution」渡辺美里	「DESIRE」中森明菜
1987年	「雪国」吉幾三	「STAR LIGHT」光 GENJI	「Strawberry Time」松田聖子	「愚か者」近藤真彦
1988年	「Diamond ハリケーン」光 GENJI	「DAYBREAK」男闘呼組	「乾杯」長渕剛	「パラダイス銀河」光 GENJI
1989年	「とんぼ」長渕剛	「太陽がいっぱい」光 GENJI	「愛が止まらない」Wink	「淋しい熱帯魚」Wink
1990年	「今すぐ Kiss Me」LINDBERG	「さよなら人類」たま	「OH YEAH!」 プリンセス・プリンセス	「恋唄綴り」堀内孝雄 「おどるボン・ボリン」B.B.クィーンズ
1991年	「愛は勝つ」KAN	「どんなときも」槇原敬之	「はじまりはいつも雨」ASKA	「北の大地」北島三郎 「愛は勝つ」KAN
1992年	「BLOWIN' / TIME」B'z	「それが大事」 大事 MAN ブラザーズバンド	「涙のキッス」 サザンオールスターズ	「白い海峡」大月みやこ 「君がいるだけで」米米 CLUB
1993年	「ロード」THE 虎舞竜	「エロティカ・セブン」 サザンオールスターズ	「裸足の女神」B'z	「無言坂」香西かおり
1994年	「恋しさと せつなさと 心強さと」 篠原涼子 with t.komuro	「Don't Leave Me」B'z	「空と君のあいだに」中島みゆき	「innocent world」Mr.Children
1995年	「HELLO」福山雅治	「Tomorrow never knows」Mr.Children	「シーソーゲーム」Mr.Children	「Overnight Sensation」trf
2001年	「PIECES OF A DREAM」CHEMISTRY	「波乗りジョニー」桑田佳祐	「恋愛レヴェリューション 21」モーニング娘	「Dearest」浜崎あゆみ
2011年	「風は吹いている」AKB48	「上からマリコ」AKB48	「桜の木になろう」AKB48	「フライングゲット」AKB48

歌謡曲とは？

歌謡曲とは、日本の流行歌、日本のポピュラー音楽の総称、及びジャンルの一つ。

日本では元々「歌謡曲」は、いわゆるクラシック音楽の歌曲を指していた。昭和の初めの頃、ラジオ放送などのはじまりとともに、流行歌を大衆娯楽としてこう呼ぶようになった。主に 1950 年代後半の日本が高度経済成長にあった時の音楽を指すことが多い。この頃、春日八郎のヒット曲「お富さん」などの現在の演歌とよばれるジャンルの源流が発生し、またフランク永井や石原裕次郎のムード歌謡が一世を風靡した。

さらに 1959 年、ザ・ピーナッツの「可愛い花」をきっかけに、歌謡曲のさらなる多様化が始まる。この曲は日本における本格的なポップ・ミュージック曲として話題となり、和製ポップスの実質的な第 1 号として認知された。その後も歌謡曲の多ジャンル化は進み、1960 年代中頃の弘田三枝子などによるリズム・アンド・ブルース、1970 年代には吉田拓郎や中島みゆきなどのニューミュージックが生まれ、アイドル歌謡の流行も始まる。1978 年には昭和を代表する伝説の歌番組「ザ・ベストテン」が始まり、歌謡曲の黄金時代を迎える。

1990 年代に入るとドリームズ・カム・トゥルー、B'z などが人気を集め、近年は若者向けの音楽は J ポップと呼ばれ、歌謡曲という呼び名は演歌だけをさすことが多い。



スタッフ思い出のこの一曲①

「UFO」ピンク・レディー

昭和のスーパーアイドル、ピンク・レディー最大のヒット曲「UFO」。

デビュー曲「ペッパー警部」のガニ股踊りを見て「変なの」などと思っていた当時小学生の私ですが、「UFO」の頃にはすっかり夢中になっており、新曲発売日にはいつもお小遣いを握りしめレコード屋さんへ走っていました。そして私がミーちゃん、同じクラスのユミコちゃんがケイちゃんとなって、毎日毎日踊りの練習に励んでいました。ビデオのなかったあの頃、振りをマスターするのは大変でしたが、完璧に踊れていたと思います！私はもう踊れませんが、今年の「復活」でもとてもカッコ良かったピンク・レディーのお二人。尊敬します。

収録CD:「ピンク・レディー」 P08/1122 本町図書館他所蔵



歌番組と言えば…紅白歌合戦！



記念すべき第1回紅白歌合戦が行われたのは1951年1月3日のこと。出演者は白・紅各組7組で一時間番組だった。視聴者からの応援電話が殺到し、電話交換台のヒューズが飛び回線が不通になったという逸話も。白組の勝利。第2回には1時間半へと番組枠が拡大。(各12組)当日、松島詩子が交通事故により出演出来なくなり、急遽、越路吹雪が代役を務めるオープニングがあった。第4回からは年末12月31日に移行。つまり1953年には2度の紅白歌合戦が放送されたことになる。

視聴率データが残っているのは第13回目(1962年)からで、この時が80.4%。白組司会が高橋圭三から宮田輝アナウンサーに変わり、紅組司会に森光子が起用された。翌14回は東京オリンピックを翌年に控えた回ということで、渥美清が聖火ランナーとなってオープニングに登場。視聴率も空前の81.4%を記録。8000万人が見た番組として、以後も国民的番組として人気を博す。

最多出場回数は北島三郎の49回。次いで森進一の45回。紅組最多は和田アキ子の36回。勝敗は白組の34勝29敗。(以上2013年1月現在)

スタッフ思い出のこの一曲②

「黒ネコのタンゴ」 皆川おさむ

時々、児童室で耳にする母親の言葉がある。「その本、この前も借りたじゃない」
そうは言っても…見たいのだ。好きな本は何度でも繰り返し見たいものなのだ。
正論よりも感情が優先し、大声で泣くことさえも許された、安心に包まれた時代。
昭和の空気に溶け込んだ、ありふれた家族の風景と共に、繰り返されたメロディ。
たくさんあった中で、唯一、覚えている一枚。レコードに針を落とすことさえ未知の冒険で、
何度も何度も繰り返しせがんだはずだ。好きな色を纏うことさえ許されない現代。
あの頃を思いながら、黒ネコと手をつなぎタンゴを踊りたい。

収録CD:「青春歌年鑑 70 BEST30」P09/3584 中央図書館所蔵



参考文献／引用

「総合百科事典ポプラディア」ポプラ社 児童・ラベルなし 本町図書館他所蔵

「歌謡曲 時代を彩った歌たち」高護著 岩波書店 767.8 コ 本町図書館他所蔵

「オリコン年鑑」オリコン・エンタテインメント R767.8 オ 中央図書館所蔵

「日本流行歌史」社会思想社 767.8 コ 本町図書館他所蔵

「紅白50回 栄光と感動の全記録」NHKサービスセンター 699.6 コ 中央図書館所蔵

展示図書リスト

書名	著者	出版者	出版年	分類記号
AKB48の言葉が教えてくれること	方喰正彰著	あさ出版	2012	767.8 カ
日本流行歌変遷史	菊池清麿著	論創社	2008	767.8 キ
歌謡曲 時代を彩った歌たち	高護著	岩波書店	2011	767.8 コ
これが好き！ニッポンの歌		音楽出版社	2012	767.8 コ
上を向いて歩こう	佐藤剛著	岩波書店	2011	767.8 サ
歌謡曲から「昭和」を読む	なかにし礼著	NHK出版	2011	767.8 ナ
よみがえる歌声 昭和歌謡黄金時代	林家たけ平著	ワイズ出版	2012	767.8 ハ
美空ひばり 虹の唄	美空ひばり著	日本図書センター	2012	767.8 ミ
美空ひばりプライベート	加藤和也監修	辰巳出版	2005	767.8 ミ
ぼくの歌・みんなの歌	森達也著	講談社	2007	767.8 モ
森高千里としか言えない	小貫信昭著	幻冬舎	2012	767.8 モ
山口百恵	中川右介著	朝日新聞出版	2012	767.8 ヤ
夢を食った男たち	阿久悠著	文藝春秋	2007	770.4 ア
柳亭市馬の懐メロ人生50年	柳亭市馬著	白夜書房	2011	779.1 リ

スタッフ思い出のこの一曲③

「上を向いて歩こう」坂本九

1960年代、坂本九さんが19歳の時に唄ったこの曲は日本では勿論、アメリカでは「スキヤキソング」として、全世界で1000万枚以上のミリオンヒットを記録しました。坂本九さんはみんなから親しみを込めて“九ちゃん”と呼ばれていました。わたしも母も九ちゃんが好きでした。1985年8月の飛行機事故の為、43歳の若さで坂本九さんが亡くなられた時には、「あの笑顔がもう見られない。唄っている姿も見ることができないと思ったらとっても寂しい」と母は悲しんでいました。九ちゃんには「見上げてごらん夜の星を」「涙くんさよなら」「明日があるさ」等数々のヒット曲があります。東日本大震災の復興応援ソングになった曲もあります。

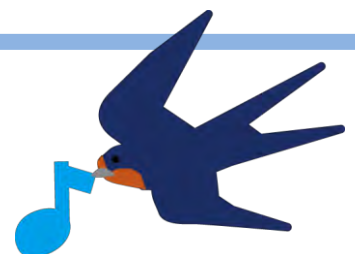
収録CD:「坂本九 ビッグ・アーティスト・ベスト・コレクション」P07/1048 本町図書館他所蔵

スタッフ思い出のこの一曲④

「昴」谷村新司

1980年代、私は小学生でした。その時なぜかこの曲を担当の先生が音楽の時間に教えてくれたのです。そしてわたしはなぜか歌詞まで完璧に覚えてしまいました。祖母に「歌って」と頼まれて、恥ずかしくも歌ったことをよく覚えています。「上手ね」と褒められたことも。あの頃は歌詞の意味も分からずになんとか歌っていましたが、今改めて聞くと、しみりと心に響きます。

収録CD:「シングルA面コレクション／谷村新司」P07/1118 本町図書館所蔵



スタッフ思い出のこの一曲⑤

「CHA－CHA－CHA」石井明美

1986年にテレビドラマ「男女7人夏物語」の主題歌になり大ヒットしたこの曲は石井明美のデビュー曲です。ノリのいい曲調と覚えやすいメロディーでその年のオリコン年鑑シングルチャートの1位を獲得しました。オリジナルはイタリアのダンスグループのフィンツィ・コンティーニの曲で、今でも私はたまにカラオケで歌ってしまいます。良くも悪くも80年代印のこの曲ですが、最近では日本の女性ロックバンドチャットモンチーにカバーされたり、クラブでプレイされたりしていました。

収録CD:「CD選書ベスト 1984-1992」P09/2189 中央図書館所蔵

「オリコン年鑑」1982年～2009年版(1986年を除く)オリコン・エンタテインメント R767.8 オ

その年のマーケットの総括や、ベストセラー、週間ランキング(シングル・アルバム)などを収録しています。中央図書館参考資料室の本です。貸出はできません。

図書館の本で調べる。

図書館のCDを聞く。

「完全盤 青春のバイブル 60」P09/1184 本町図書館所蔵

1960年代の青春の歌がつまっています。70と80もありますよ!

「懐かしのメロディー 港が見える丘～月よりの使者」P07/0436 本町図書館所蔵

昭和20年代のヒット曲集。ビクター編①②とコロムビア編③があります。

「青春歌年鑑 70 BEST30」P09/3584 中央図書館所蔵

1970年のBEST30曲を収録。1970年から1990年版まであります。

「ぼ」「と」「そ」1970年代永久保存盤ベスト30 P09/1064 P09/1049 P09/1048 鷺宮図書館所蔵

それぞれ、ポニーキャニオン編・東芝EMI編・ソニーミュージック編となっています。1980年代ベスト30もあります。



※他の図書館のCDを本町図書館に取り寄せることもできます。詳しくはスタッフにお尋ねください。

本町図書館からのお知らせ



本町図書館個性づくり展示「ザ★歌謡曲」はお楽しみいただけましたでしょうか。これからもみなさまの身近にある、お役に立つ図書館、新しい発見のある図書館を目指して、スタッフ一同取り組んでまいります。



☆おはなし会☆

毎週土曜日 11:00～11:30

第4水曜日 15:30～16:00

児童室にて開催中！

第4土曜日は乳幼児向けの

「おひざでだっこのおはなし会」

☆個性づくり展示☆

第七回・浮世絵

第八回・舞台

第九回・ジブリ

第十回・工芸

過去の個性づくりの本も
展示してあります。
ぜひ、ご覧ください。

第一回・岡本太郎

第二回・落語

第三回・映画

第四回・伝統工芸

第五回・音楽

第六回・デザイン

1階7門書架にあります。

3月の休館日

毎週月曜日+29日・金曜日

4月の休館日

3月下旬に館内掲示などで
お知らせいたします。



「本町ほのぼのだより」
第12号は4月26日
発行予定です。

